

東京放射線

2018年11月号

Vol.65 No.766



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

報 告

第69回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会（抄）
平成29年度 功労賞（勤続20年表彰）・小野賞受賞者

お 知 ら せ

平成30年度第15地区研修会
ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について

会 告

平成30年度SR推進委員会（公益・災害）研修会
医療被ばく低減施設認定取得講演会（第21回メディカルマネジメント研修会合同開催）
第82回日暮里塾ワンコインセミナー

巻 頭 言

つなげよう”和”
石田秀樹

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2018年 NOV CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 つなげよう“和”..... 副会長 石田秀樹	4
会告1 平成30年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	5
会告2 医療被ばく低減施設認定取得講演会 第21回メディカルマネジメント研修会合同開催	6
会告3 第82回日暮里塾ワンコインセミナー	7
会告4 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	8
会告5 平成30年度城南支部研修会	10
お知らせ1 平成30年度第15地区研修会	11
お知らせ2 2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会演題募集について ..	12
お知らせ3 ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について ..	14
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	15
第69回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)	16
平成29年度 功労賞(勤続20年表彰)・小野賞受賞者	27
こ え ・第64回きめこまかな生涯教育研修会に参加して..... 横森裕一	28
パイプライン ・第63回放射線同友会	29
・超音波スクリーニング研修講演会2018五反田	30
平成30年度4月～9月期会員動向.....	31
平成30年度第6回理事会報告	32

Column & Information

・求人情報	31
・学術講演会・研修会等の開催予定	34
・イエローケーキ	35

巻頭言



つなげよう“和”

副会長 石田秀樹

2019年6月29日(土)・30日(日)、一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)にて開催される2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会のテーマおよびサブタイトルを「つながる医療 つなげる“和”～One for all, All for one～」と決定して各方面の準備を進めています。

大会の市民公開講座の一つに、品川区にある昭和大学病院の最上階17階にある、院内学級「さいかち学級」の副島賢和先生^{そえじまさかず}をお招きし、ご講演していただきます。先生は「赤鼻のセンセイ」(日本テレビ)のモデルになったことでも知られています。講演主題を「学ぶことは生きること～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～」と銘打ち、病気のため学校へ行けない子らのための、病院内学級のさまざまなエピソードを交えて参加者の胸に強く響くご講演となります。ぜひとも、ご家族やご友人をお誘い合わせの上、皆さんと感動を共有できればと思います。

病院の中の掲示物で、目にとまった文がありました。

「手術いやだなあ

頭切るっていうし。髪の毛そるっていうし。

退院まではえないかもしれないし。

手術を考えると体がムズムズする。

手術を考えるとねむれない。

できることならやめたい。

手術が終わったらドッチボールやりたい。

終わったらステーキとおすしを食べたい。

いっぱいテレビをみたい。

はやく終わるといいな」

「病気になって不快な感情で蓋をした子どもの心を開き、通っていた学校にすんなりと復学できるようすることは大事なことであって、子どもと短い時間内で信頼関係を築くようにして、院内学級は安全、安心できる場所と思ってもらうのが大事である」と先生は言われます。われわれ、診療放射線技師もチーム医療に携わる一員として、子供たちや親御さんたちに安心して検査を受けていただけるように日々、努力をしています。子供たちに笑顔で検査を受けてもらえるように医療現場のさまざまな場面でわれわれができること、望まれていることをますます意識して、人と人、多職種との“和”をつなげ、縁を広げ、プロとしての誇りを胸に、情熱を持って仕事に取り組んでいこうと思います。

平成30年度 SR推進委員会(公益・災害)研修会 テーマ「医療機器の災害対策～地震・水害～」

医療機関における災害対策として、地震対策については多くの施設で検討がなされていると思います。また、最近では異常気象による水害のニュースが毎年のように報じられており、施設内の浸水といった被害も起こり得る危機として、意識を高めている人も少なくないと思います。

平成29年度に東京都診療放射線技師会SR推進委員会では、当委員会委員の勤務する施設を例に挙げ、放射線部門における災害対策マニュアルや災害訓練の様子などについて実例や課題等を報告する研修会を行いました。

本研修会では、医療機器の災害対策として地震に加えて水害も想定し、特に電源対策に着目して各医療機器メーカー担当者からの情報提供および当委員会委員から自施設の対策について報告致します。

災害対策を進められている各施設の災害対策担当者の一助となれば幸いです。

記

日 時：平成30年11月3日(土・祝) 13時30分～17時00分(受付開始13時00分～)

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：70名(先着順)

参 加 費：会員1,000円、非会員5,000円(当日徴収)

申 込 方 法：東放技ホームページ(<http://www.tart.jp/>)の参加申し込みフォーム(研修会申し込み先は“災害対策委員会”を選択)からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.5カウント付与

問い合わせ：SR推進委員会 渡辺靖志 E-Mail: saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

医療被ばく低減施設認定取得講演会 第21回メディカルマネジメント研修会合同開催

テーマ「医療被ばく低減施設認定～認定取得の意義と評価項目について～」

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人東京都診療放射線技師会

講師：JART 医療被ばく安全管理委員会委員

JART 医療被ばく低減施設認定チーフサーベヤー

聖マリアンナ医科大学病院

佐藤 寛之 氏

記

日 時：平成30年11月15日（木）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。※人数により締め切ることがあります。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



第82回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「最近のトレンドからみる医療安全対策」

講師：株式会社ジェイマックスシステム 営業部 営業推進グループ 西岡 恵利加 氏

昨今、画像レポートの見逃しや、線量管理など、患者への高い安全性や信頼性が求められています。今回は最近の医療事情で問われているテーマについて学習したいと思います。

～ 内容 ～

1. 画像レポート見落とし（閲覧）防止機能
2. 線量管理システム
3. 放射線部門業務システム（ACTRISトピックス）
「放射線技師の設計による業務効率向上のためのRIS」
 - ① 診断部門＆業務支援
 - ② 放射線治療管理
 - ③ 核医学治療管理

記

日 時：平成30年11月28日（水）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員500円、非会員3,000円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成30年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。平成30年度の本会においての予定は下記の通りです。

記

受講料：会 員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア）講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ）欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締め切りとします。

【第4回】

日 時：平成30年11月17日（土）9時20分～18時20分（受付開始9時00分～）
平成30年11月18日（日）9時10分～16時40分

場 所：三鷹産業プラザ 会議室
東京都三鷹市下連雀3-38-4 三鷹産業プラザ

ア ク セ ス：JR中央線・総武線 三鷹駅南口 徒歩約7分

募 集 人 数：70名

【第5回】

日 時：平成31年1月26日（土）9時20分～17時30分（受付開始9時00分～）
平成31年1月27日（日）8時30分～17時40分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター
東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

募 集 人 数：30名

【第6回】

日 時：平成31年3月2日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成31年3月3日（日）8時30分～17時30分

場 所：会場調整中

ア ク セ ス：未定

募 集 人 数：未定

以上

平成30年度 城南支部研修会

テーマ「改正された放射線障害防止法と医療施設の対応」

— 放射線障害予防規程作成にむけて —

講師：元国立がん研究センター中央病院治療部診療放射線技師長 小高 喜久雄 氏
東邦大学医療センター佐倉病院中央放射線部技師長補佐 伊藤 照生 氏

平成30年4月の放射線障害防止法の改正により、医療施設でも対応が求められています。城南支部委員会では経験豊富な2名の講師をお招きし、医療機関の立場になって改正法をどのように取り入れていけばよいか、第4条改正で本年4月より施行された施行規則等をどのように理解すればよいのか。また、来年の8月30日までに提出しなければならない予防規程の作成をどのように行えばよいのかなどを、ご講演していただく機会を設けました。放射線管理担当者のみならず、事務職など関係職種お誘い合わせの上、皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成31年1月12日（土）14時00分～17時30分（受付開始13時30分～）

場 所：東邦大学医療センター大橋病院 臨床講堂
目黒区大橋2-22-36

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）
の参加申し込みフォーム（研修会申し込み
先は“城南支部”を選択）からお申し込みく
ださい。または会誌の研修会等申し込み用
紙にて事務所にFAXでお申し込みくださ
い。

問い合わせ：城南支部委員会

E-mail：shibu_jyounan@tart.jp

第15地区委員長（城南支部委員長） 原子 満

第11地区委員長 千葉利昭

第8地区委員長 三富 明

第4地区委員長 目黒一浩



以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ 1

平成30年度 第15地区研修会

テーマ 今日学んで明日から実践「一般撮影パラメータ」

講 師：富士フイルムメディカル株式会社
コニカミノルタジャパン株式会社

一般撮影ではFPDが普及し、CRを使用する時と比べて線量を下げて撮影することが可能となりました。そんな日常の業務の中で、どのパラメータをどのように調整したらもっと見やすくなるのだろうか？と疑問に思ったことはないですか。

また、適正線量が曝射されていたのか、いまいち自信がない、と感じた経験はないでしょうか。

最適な条件は、使用装置やシステムによっても左右されますし、撮影部位や目的患部によっても変化するものです。そこで今回は、2社のメーカーのご協力をいただき、各社の意図とユーザー側、双方の目的に合った画像処理の方法を再考する機会になればと企画致しました。

新人さんは勿論、普段あまり一般撮影に携わらない方、ベテランの方、皆さんと一緒にパラメータの特性を理解して使いこなせるようになりましょう。

記

日 時：平成30年11月22日（木）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：高津市民館ノクティ2 12階大ホール

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口1-4-1

ア ク セ ス：東急田園都市線 溝の口駅 徒歩約4分

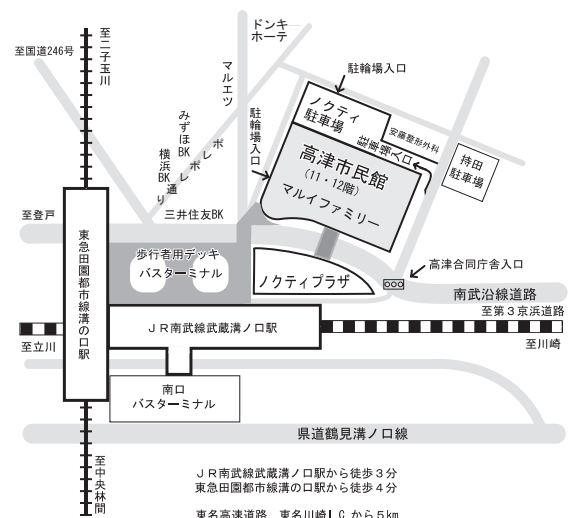
JR南武線 武蔵溝ノ口駅 徒歩約3分

受 講 料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生
無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第15地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第15地区委員長（城南支部委員長）原子 満
E-Mail：area15@tart.jp



以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ 2

2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 演題募集について

下記要領にて演題募集を行います。多数の応募をお待ちしております。

【1】開催日時

2019年6月29日（土）・30日（日）（2日間）

6月29日（土） 9時00分～18時00分（予定）

6月30日（日） 9時00分～14時00分（予定）

※プログラムの構成上、変更する場合がございます。

【2】開催場所

一橋大学一橋講堂 〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

【3】応募資格

一般セッションの発表者は、日本診療放射線技師会会員で平成30年度会費完納者に限ります。ただし、診療放射線技師養成機関に所属する学生、または外国籍の方はこの限りではありません。

【4】発表形式

（イ）一般セッション（口述発表）

（ロ）国際セッション（口述発表）

※発表言語・スライドは英語のみ、質疑応答は日本語または英語

（ハ）学生セッション（口述発表）

【5】募集期間

2018年12月3日（月）正午～2019年2月15日（金）終日

※詳細は東京都診療放射線技師会ホームページ（<http://www.tart.jp/>）内の「お知らせ」をご覧ください。

以上

2019年度

関東甲信越 診療放射線技師学術大会

つながる医療 つなげる
和
One for all,
All for one

TOKYO

【主催】

公益社団法人日本診療放射線技師会
公益社団法人東京都診療放射線技師会
一般社団法人群馬県診療放射線技師会
一般社団法人山梨県診療放射線技師会
一般社団法人栃木県診療放射線技師会
公益社団法人神奈川県放射線技師会
公益社団法人茨城県診療放射線技師会
一般社団法人千葉県診療放射線技師会
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
一般社団法人長野県診療放射線技師会
一般社団法人新潟県診療放射線技師会

【実施】

公益社団法人東京都診療放射線技師会

【大会長】

篠原健一

公益社団法人東京都診療放射線技師会会長

【会期】

2019年

6月29日(土)・30日(日)

【学会会場】

一橋大学一橋講堂

【情報交換会場】

学士会館



一橋講堂/学士会館へのアクセス
東京メトロ丸の内線
都営三田線、都営新宿線
「神保町」駅(A9出口)徒歩3分



お知らせ 3

ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について (東京都診療放射線技師会助成演題)

本会ではソウル特別市放射線士会との学術交流協定に基づき、下記日程の学術大会で研究発表を行う会員に対して、渡航費および滞在費の一部を助成します。この制度の利用を希望する会員は奮ってのご応募をお待ち申し上げます。

学会名	2019年ソウル特別市放射線士会学術大会
日 時	2019年3月14日(木)～17日(日) (International session : 3月16日)
会 場	大韓民国ソウル市・COEX ソウル特別市 江南区 三成洞159貿易センターCOEX

記

【1】発表形式および使用言語等

- ① 英語による口述発表とします。
- ② スライドもすべて英語表記とします。
- ③ スライド原稿は原則事前提出とします(期限は演題採用決定後通知)。

【2】応募資格

公益社団法人東京都診療放射線技師会の会員で、平成30年度会費完納者に限ります。

【3】募集演題数：2題

応募演題の中から学術教育委員会にて審査の上、理事会で承認し決定します。

【4】応募方法および期限

下記2種類の書類を平成30年12月26日(水)までにメールにて送付してください。

① ソウル特別市放射線士会学術大会参加費用等助成申請書

本会ホームページからダウンロード(Wordファイル)し、押印の上、PDFファイルで保存してください。

② 応募演題

図表なしで目的・方法・結果・考察を和文および英文で作成し、A4サイズ1枚以内で作成してください。なお、英文原稿については、各自で投稿前に英文校正会社やnative speakerによるチェックをお願いします。

送付先(お問い合わせ)アドレス：tart@tart.jp

(メールタイトルを「SRTA学術大会演題応募」とご記載ください)

【5】演題採用後の処遇について

演題が採用された方の参加登録・渡航・宿泊の各手配および費用清算は本会が行います。

以上

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ<http://www.tart.jp/>に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひご利用ください。



なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

情報委員会



第1地区 第5地区 第9地区 第13地区
第2地区 第6地区 第10地区 第14地区
第3地区 第7地区 第11地区 第15地区
第4地区 第8地区 第12地区 第16地区

城東支部	第1地区	千代田区	台東区	
	第2地区	中央区	江東区	江東区
	第7地区	墨田区	江戸川区	
城南支部	第14地区	千葉方面地区	千葉地域	
	第4地区	港区	渋谷区	
	第8地区	品川区	大田区	
	第11地区	世田谷区	目黒区	
	第15地区	神奈川方面地区	神奈川地域	
城西支部	第3地区	新宿区	豊島区	
	第9地区	板橋区	葛飾区	
	第10地区	練馬区	中野区	杉並区
城北支部	第5地区	文京区	荒川区	
	第6地区	足立区	墨田区	荒川区
多摩支部	第16地区	埼玉方面地区	埼玉地域	
	第12地区	西東京市	清瀬市	東大和市
		小平市	東村山市	
		武蔵村山市		
	第13地区	上記、第12地区以外の多摩地域		



第69回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)

開催日：平成30年5月26日(土) 開催場所：日暮里サニーホール

鈴木総務委員長：只今より第69回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を開会致します。はじめに平成29年度物故会員の方々へ黙祷を捧げたいと存じます。皆さまご起立願います。(黙祷) ご着席ください。それでは、はじめに、篠原健一会長よりご挨拶を申し上げます。



篠原会長：本日は第69回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会に、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。また、ご来賓と致しまして公益社団法人日本診療放射線技師会の中澤靖夫会長ならびに、公益社団法人日本放射線技術学会東京支部の飯田紀世一支部長にはご多忙にもかかわらずご臨席を賜りまして感謝を申し上げます。さて、先ほどまで第16回を数えます、ペイシェントケア学術大会が開催されました。これは中澤前会長の時代に始まって歴史を刻んでまいりました。また、本総会も第69回という歴史あるものですが、本総会では創立以来初めてとなる代議員総会です。16の地区からそれぞれ30人に一人の割合で代議員を選出していただき本日お集まりいただきました。長年行政の指導で会員総会でやってまいりましたが、近年は2,200名前後の会員数を維持していることもあり、代議員制導入の必要性を繰り返し行政へ訴えてまいりました。そして、定款諸規程等検討委員会をはじめ役員各位のご努力、またパブリックコメントをはじめ会員の皆さま方のご理解とご協力により悲願が達成されたと思っています。今までよりも民主的にさらに活性化につながる会務運営へのステップとする所存ですので、本日の総会議事も代議員の皆さまの積極的なご参画をよろしくお

願い致します。また今回は二年に一度の役員改選の年であります。合わせてご審議をいただきまして、ご判断をお願い申し上げます。

事業計画の総括な



篠原会長

どにもありますので重複致しますが、本年度から数えますと一年後には関東甲信越診療放射線技師学術大会の東京開催を計画しております。さらに二年後、これは東京オリンピック・パラリンピックの開催年でありまうけれども本会創立70周年を迎えます。そしてさらに三年後には全国診療放射線技師学術大会及びAACRT (Asia Australasia Conference of Radiological Technologists) という、東アジア地域からオーストラリア、ニュージーランドまでの地域の皆さんを迎えての学術大会、これを東京で開催するということなのですが、大きな事業が続きます。皆さまの一層のご協力ご参画が必要となつてまいりますので、そのことを切にお願いを致しまして開会の挨拶と致します。本日はよろしくお願い致します。

鈴木総務委員長：次に、ご来賓よりご祝辞を賜りたく存じます。公益社団法人日本診療放射線技師会会長 中澤靖夫様よりご祝辞を賜りたく存じます。

中澤日放技会長：只今ご紹介に預かりました日本診療放射線技師会の中澤でございます。本日は第16回ペイシェントケア学術大会ならびに第69回東京都診療放射線技師会の定期総会の開催を心からお喜び申し上げる次第でございます。

私からは三つのお話をさせていただきたいと思っています。一つ目は、篠原会長はじめ東京都の役員の方々の事業の伸展が大変すばらしく立派なものだということでございます。振り返りますと平成23年の4月に私の方から篠原会長に東京都をバトンタッチしまして活動が開始されたわけですが、ちょうどその年は3.11発災がございました。私と篠原会長とで一緒に東京都に行きまして東北地域で被ばくをしたのではないかと不安に思っている住民の皆さま方が東京都に避難されてこられるということで、その方々の放射能汚染に対する

スクリーニングをやりましょうということで取り組んでいただきました。東京ビッグサイトあるいは味の素スタジアムで24時間体制のボランティアを一生懸命行っていただきました。これが東京都から高く評価され感謝状も頂いておるところですけれども、このような素晴らしい活動が篠原体制の最初の大きな事業でございました。そして二つ目の素晴らしいところは、東京都放射線技師会が創設してから長年実現できないことがございました。それは、第14地区、第15地区、第16地区の皆さま方を正会員としてお迎えできなかったことでございます。ところが篠原会長の時代になりますと東京都と折衝していただきまして、この地区の方々が全員正会員になられたということでございますので、本当に東京都の長年の課題を解決していただいたなと思っております。そして三つ目の大きな事業は、まさに本日のこの総会の会場でございます。長い間会員総会でしたけれども今回から代議員総会ということでございますので、われわれ預かってきた身でございますけれども実現できなかったことを篠原会長並びに全役員の皆さま方のご努力により、このような代議員総会を実現できたのは大変すばらしい立派な事業をやっていただけだと感謝を申し上げたいと思っております。



さて、二つ目のお話ですけれども、日放技が取り組んでいる事業の話でございます。われわれの10年先の診療放射線技師教育をどうするかということで厚生労働省に平成26年に行ってまいりました。今現在用いております指定規則、これは各大学各専門学校で最低限教えなければならない科目を定めたものでございます。これが平成13年3月に法令改正されて93単位で動いていたわけでありまして。そして、私どもは業務拡大を勝ち取って平成27年に2単位を追加して今現在95単位で動いております。しかしながら、抜本的な改正は16年以上行っておりません。これを改正しなくてはならないということで厚生労働省にお願いしに行きました。そして、厚生労働省の方からは全国診療放射線技師教育施設協議会と合同で話し合って案を提出してくださいということでございました。私どもは平成27年、28年と二年間かけて話し合っていました。私どもの案は現行95単位に10単位をプラスして105単位、全国診療放射線技師教育施設協議会は現行より2単位プラスの97単位^{かいり}ののだということでございまして、なんと8単位の乖離^{かいり}がございました。これを二年間かけて話し合っ^{かいり}て最終的に102単位に案をまとめて、そして京都医療科学大学の遠

藤啓吾先生と一緒に平成29年6月に改正案を厚生労働省へ提出致しました。それを受けて厚生労働省には平成30年3月29日に第一回の指定規則検討委員会を開催していただきました。今の論点は二つございます。画像診断学を学ばせていただきたいと長年主張してきたわけですが、放射線科の先生方は画像診断学の勉強はしなくてもいいということでございます。とんでもないと思っているところですが、これが一つ目の論点です。二つ目の論点は、現行見学型の実習となっておりますが世界標準である参加型に変えたい。この二つの論点で第一回の委員会を終了したところであります。これからが勝負です。今年の11月までに4~5回の会議を経て来年の3月には法令改正を行って二年後に実施ということでございます。今後、この画像診断学が決まりますと全ての教員は義務的にこの勉強をしなければなりません。そしてわれわれ既卒の診療放射線技師も画像診断学の勉強をしっかりとやらなければならないといったことになろうかと思っておりますので、その辺もご理解をいただきながらご注視いただきたいと思いますと思っております。



三つ目のお話は、昨年4月19日に厚生労働省の中に医療放射線の適正管理に関する検討会が初めて立ち上がりました。そして回を重ねて本年の4月27日に第五回の会議が開催されました。大変重要な決定が下されております。一つは医療被ばくの正当化の為に医師・歯科医師の研修を義務化すること。二つ目が医療被ばくの最適化の為に放射線従事者の研修を義務化すること。三つ目は相対的に被ばく線量が高いと思われるX線CTあるいはIVRあるいは放射線医薬品の被ばくを記録することを義務化することが委員会で決定致しました。今後は上の会議である医療部会で検討して来年の春先には法律改正に入るところまで進んできております。私どもが放射線管理士の育成あるいは被ばく低減施設の育成をやってまいりましたが、まさに時代にマッチした事業が長年にわたり行われてきたということですし、今年の診療報酬でも画像管理加算3の中に医療被ばくの管理が入ってきましたし、診療放射線技師の明確な氏名を記載して届け出ることが義務化されてきておりますので、ぜ

ひ皆さま方におかれましては大きな医療界の流れ、放射線の管理への流れを良く熟知していただいて実践していただきたいと思います。最後になります東京都診療放射線技師会の益々のご発展と本日ご列席の皆さま方のご健勝をご祈念致しましてお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



鈴木総務委員長

鈴木総務委員長：日本診療放射線技師会会長中澤靖夫様ありがとうございました。

続きまして公益社団法人日本放射線技術学会東京支部支部長 飯田紀世様よりご祝辞を賜りたく存じます。

飯田東京支部長：皆さまこんにちは、只今ご紹介に預かりました日本放射線技術学会東京支部支部長の飯田でございます。第69回東京都診療放射線技師会定期総会にお招きいただきましてありがとうございます。本日は第16回パシエントケア学術大会ならびに第69回東京都診療放射線技師会の定期総会の開催を心からお喜び申し上げます。また、日頃より日本放射線技術学会東京支部へのご協力ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。



飯田東京支部長

この場をお借りしまして日本放射線技術学会東京支部の学術事業を少しご紹介させていただきます。東京支部学術事業につきましては例年通り各モダリ

ティ、さまざまな分野の多岐にわたるフォーラム、セミナーを進めてまいります。また東京支部単独事業だけではなく他支部と合同で広域的に学術事業を進めております。9月には関東支部、北海道支部との合同で英語研究発表トレーニングキャンプを那須において2泊3日で開催予定となっております。また、12月には関東支部と合同で関東・東京支部合同研究発表大会2018と称して、大宮にありますソニックシティで二日間にわたり学術大会を開催する予定となっております。前回は2013年に開催しており5年振りの開催となります。ぜひとも皆さまにおかれましては東京支部の学術事業をはじめ、12月の大宮で開催される関東支部との合同大会にご参加いただきたいと思います。また、技術学会単独ではなく東京都診療放射線技師会様とも第18回を迎えます合同学術講演会を開催する予定となっております。先代の方々が築き上げ継続してきたこの事業を絶やすことなく開催することができますのも、会長の篠原先生をはじめ役員の方々との良好な関係があつてのことと考えております。

本当に感謝申し上げます。今後も両会良好な関係を継続していきたいと思っておりますので役員の先生方ならびに、ご列席の会員の皆さまのご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。最後になりますが、東京都診療放射線技師会の益々のご発展と会員の皆さまのご健勝を祈念申し上げまして甚だ簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

鈴木総務委員長：日本放射線技術学会東京支部支部長飯田様ありがとうございました。次に総会議事に先立ち、表彰を執り行います。平成29年度における、小野賞・永年勤続表彰・学術奨励賞の表彰及び感謝状の贈呈を執り行います。それでは担当理事お願い致します。

高野渉外委員長：渉外を担当しております高野です。よろしくお願い致します。それでは本会表彰規定により平成29年度表彰を行います。



高野渉外委員長

表彰規定第2条第5項により小野賞の表彰を行います。小野賞は多年にわたり技師会活動ならびに地域医療に貢献された方々を対象に各委員会からの推薦を受け理事会の承認を受けた方々に贈られます。氏名を呼ばれた方はその場でご起立をお願い致します。それでは本年度小野賞授賞の6名の皆さまをご紹介致します。第1地区 大澤享さん、第2地区 江田裕介さん、第6地区 岡部博之さん、第15地区 本寺哲一さん、総務委員会 岡部圭吾さん、編集委員会 岩井譜憲さん、6名を代表して大澤享さん壇上をお願い致します。

篠原会長：表彰状、小野賞、大澤享殿。あなたは多年にわたり地区活動ならびに地域医療に貢献された功績は誠に顕著でありその功績は小野賞に値します。ここに第69回定期総会において表彰致します。平成30年5月26日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。どうもありがとうございます。



小野賞：大澤会員

高野渉外委員長：ご着席ください。続きまして表彰規定第2条第2項により功労賞（勤続20年表彰）の方々をご紹介致します。田中慶幸さん、長下部千春さん、黒木幹

夫さん、岩村絵里さん、望月美香さん、河内康志さん、三富明さん、中原大輔さん、中島千枝さん、清水賢均さん、森美加さん、福原かおるさん、吉田治生さん。以上の方々を代表して森美加さん壇上をお願い致します。

篠原会長：表彰状、森美加殿。あなたは20年以上にわたり診療放射線業務に精励され技師会に貢献された功績は誠に顕著であります。ここに第69回定期総会において表彰致します。平成30年5月26日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。どうもおめでとうございます。



功労賞：森会員

高野渉外委員長：ご着席ください。続いて学術奨励賞、新人奨励賞の表彰ですので学術教育委員長の市川理事に代わらせていただきます。

市川学術教育委員長：

学術教育委員会からご報告申し上げます。平成29年度6月に長野県で行われました関東甲信越診療放射線技師学術大会及び、9月に函



市川学術教育委員長

館市で行われました日本診療放射線技師学術大会で発表された、東京都の会員の演題の中から選ばせていただきました。

まず新人奨励賞です。演題名「胸部撮影における散乱線補正処理の有用性の検討」施設名：杏林大学医学部付属病院、発表者：白川佑也さん。それでは壇上へおさがりください。

篠原会長：賞状、新人奨励賞。杏林大学医学部付属病院、白川佑也殿。平成29年度の放射線画像技術に関する研



新人奨励賞：白川会員

究発表の中で貴殿の「胸部撮影における散乱線補正処理の有用性の検討」は極めて優秀と認められました。よって第69回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成30年5月26日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。おめでとうございます。

市川学術教育委員長：二人目です、演題名「下肢静脈造影CT検査におけるMonoenergetic imagingを使用した低keV画像の有用性の検討」施設名：東邦大学医療センター大森病院、発表者：小池美香さん。壇上へお願い致します。

篠原会長：賞状、新人奨励賞。東邦大学医療センター大森病院、小池美香殿。平成29年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「下肢静脈造影CT検査におけるMonoenergetic imagingを使用した低keV画像の有用性の検討」は極めて優秀と認められました。よって第69回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成30年5月26日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。おめでとうございます。



新人奨励賞：小池会員

市川学術教育委員長：三人目、演題名「Study of optimum irradiation position considering respiratory variation in Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy (ESWL)」施設名：昭和大学病院、発表者：坪井友紀さん。壇上へお願い致します。

篠原会長：賞状、新人奨励賞。昭和大学病院、坪井友紀殿。平成29年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「Study of optimum irradiation position considering respiratory variation in Extracorporeal



新人奨励賞：坪井会員

Shock Wave Lithotripsy (ESWL)」は極めて優秀と認められました。よって第69回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成30年5月26日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。おめでとうございます。

市川学術教育委員長：皆さまおめでとうございます。では、続きまして平成29年度学術奨励賞の方に移りたいと思います。演題名「小児一般撮影における放射線被ばく低減の取り組み ～患児の再撮影減少に向けて～」施設名：東京都立小児総合医療センター、発表者：篠原由希奈さん壇上へお願い致します。

篠原会長：賞状、学術奨励賞、東京都立小児総合医療センター、篠原由希奈殿。平成29年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「小児一般撮影における放射線被ばく低減の取り組み ～患児の再撮影減少に向けて～」は極めて優秀と認められました。よって第69回定期総会において学術奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成30年5月26日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。おめでとうございます。



市川学術教育委員長：おめでとうございます。学術教育委員会からは以上となります。

鈴木総務委員長：受賞者の皆さまおめでとうございます。なお、受賞者の皆さまは記念撮影を行いますので、総会終了後はご着席のまましばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。総会議事に移ります前に、ご来賓の方々がご退席致します。ご来賓の皆さま方にはご多用にもかかわらず、ご出席を賜り誠にありがとうございます。貴会皆さま方の益々のご発展を祈念申し上げます。皆さま拍手でお送り願います。なお、中澤様は本会顧問でもありますのでそのままご着席をお願い致します。それでは、本総会の総会運営委員をご紹介します。総会運営委員は総会運営規定により各支部から選出されています。総会運営委員として、富樫敦史さん、甲斐麻記子さん、柴崎了輔さん、垣地文範さん、保川裕二さん、以上5名、総会運営委員長は富樫敦史さんです、よろしくお願い致します。

富樫総会運営委員長：総会運営委員長 富樫よりご報告申し上げます。会誌「東京放射線」3月号にて告示され

ておりますが、今回の総会においての代議員数は69名です。総会成立代議員数は本会定款21条により全ての代議員の過半数の出席者数35名、以上であります。現時点での代議員の出席状況をご説明致します。総会出席者数62名、委任状3名、合計65名、従いまして、この第69回定期総会は成立することをご報告致します。

鈴木総務委員長：富樫委員長ありがとうございました。それでは、本総会の議長団を選出したいと存じます。会場より、立候補の方、いらっしゃいますか。(挙手)立候補された方は壇上へおいでください。それでは議長団よりよろしくお願い致します。

稲毛議長：それでは本日議長を務めさせていただきます第5地区の稲毛秀一です。

澤田議長：第10地区の澤田恒久です。よろしくお願い致します。



稲毛議長：これより審議してまいります。第1号議案：平成29年度事業報告案、第2号議案：平成29年度決算

報告案・平成29年度監査報告を私、稲毛が、第3号議案：平成30年度事業計画案、第4号議案：平成30年度予算案、第5号議案：平成30・31年度役員選挙を澤田議長が担当致します。皆さまのご協力をいただき、議事を進めてまいりたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。はじめに、議事に入ります前に、総会職員の任命についてお諮り致します。総会職員については、総会準備委員名簿がすでに総会資料に掲載されておりますが、この場で改めて議長団よりご指名し、皆さまの拍手をもって、承認を得たいと存じます。異議ございませんでしょうか。(拍手) 異議がないようですので、指名をさせていただきます。はじめに、書記・写真・記録係として内藤哲也さん、岩井譜憲さん、森美加さん、田沼征一さん、山崎綾乃さん、以上5名の方々です。続いて、会場係として浅沼芳明さん、岡部圭吾さん、大脇由樹さん、吉井伸之さん、松田紗代子さん、以上5名の方々です。次に採決係として雨宮広明さん、村山嘉隆さん、新川翔太さん、河内康志さん、高瀬正さん、以上5名の方々です。最後に本日の議事録署名人は議長の稲毛秀一・澤田恒久及び全出席理事となります。それでは、以上の総会職員について、拍手をもってご承認願います。(拍手) ありがとうございます。次に、総会の運営について総会運営委員会報告を富樫委員長より願います。

富樫総会運営委員長：総会運営委員会よりご報告申し上げます。只今の時刻は16時39分です。これより、第



富樫総会運営委員長

1号議案：平成29年度事業報告、第2号議案：平成29年度決算報告・平成29年度監査報告、第3号議案：平成30年度事業計画案、第4号議案：平成30年度予算案、第5号議案：平成30・31年度役員選挙、以上、第1号議案から第5号議案までを18時10分までにご審議願います。会員の皆さま方の活発なご意見とご協力をお願い致します。

稲毛議長：只今の報告について、異議はございませんでしょうか。（拍手）異議がないようですので、報告の通り議事を進めさせていただきます。続きまして議事の進め方についてお諮り致します。議案ごとに審議し、採決を行いたいと存じます。なお、採決の方法は、反対、保留、賛成の順で挙手をもって行いたいと存じますが、異議ございませんでしょうか。（拍手）異議がないようですので、議事に入ります。今回議事に関しまして、第1号および第2号議案に関して、報告と説明をしていただきその後、議案に対し質疑、採決という流れとさせていただきます。それでは、第1号議案：平成29年度事業報告を議題と致します。それでは執行部より報告願います。

篠原会長：第1号議案：平成29年度事業報告につきまして、総括を読ませていただきます。総括、史上最年少プロ棋士（当時14歳）の藤井聡太四段（現七段）がデビューから負け知らずの公式戦新記録29連勝を達成したのは、将棋に詳しくない方でも驚いたことであった。将棋の基礎や本質をしっかりと押さえたうえで、自分なりの何かを取り入れた結果であると思う。俳聖・松尾芭蕉の俳諧の理念の一つに「不易流行」がある。「不易」はいつまでも変わらないこと。「流行」は時代に応じて変化すること。本質を忘れず守りながらも、何かを新しく取り入れて変化していくこと、というような意味である。2017年度を振り返り、本会も含めそのことを意識することの多かった一年であった。たとえば、本会は1950年の創立以来会員制総会であったが、2017年6月18日の第68回定期総会において代議員制に移行することを決議し、各地区30名に1名の割合で選出された代議員による総会へと一歩を踏み出したこともその一つである。業務範囲拡大に伴う統一講習会は全7回開催し、本会による当該講習会の実施回数、受講人数とも、本年度も他道府県に比べて一番多い数値となった。立地上本会会員以外の多くの方にも受講していただいた。この事業は2016年度入学以降の学生が、2019年度以降の国家試験に合格して診療放射線技師となることで初めて養成カリキュラムと国試が一貫して完結となる。それ以外の

方は新卒者も含め全員受講対象であるので、2019年度まで継続する予定である。関東甲信越診療放射線技師学術大会は2009年の東京開催からスタートし、2018年の新潟開催で1都9県が一巡りする。2019年度は二巡目の東京開催である。2017年6月21日にキックオフミーティングを開催し、その後協議を重ね大会テーマ及びサブタイトルを『つながる医療 つなげる“和”～One for all, All for one～』と決定して準備を進めた。「つながる」「つなげる」にチーム医療推進への思いを合わせ、手段、目的、理念となる様々な要素に“和”を重ねる意図とした。サブタイトルについては同じ2019年開催のラグビーワールドカップ日本大会に因み「一人は皆のために、皆は一つの目的のために」という理念を、本会スローガン「チーム医療を推進し、国民及び世界に貢献する診療放射線技師の育成」とともに学術大会でも示したいと思っている。



篠原会長

国際化（交流）関連では、本会と学術交流協定を締結しているSRTA（ソウル特別市放射線士会）の安会長をはじめ副会長・学術

理事・国際部理事ら6名に、2017年6月24日～25日に関東甲信越診療放射線技師学術大会（長野大会）を視察していただいた。本会からは、2018年3月17日のSRTA学術大会2018にインターナショナルセッション発表者1名を含む5人で参加をしてきた。2018年6月30日～7月1日の関東甲信越診療放射線技師学術大会（新潟大会）にSRTAの演題発表者2名を含むメンバーを迎える予定となっている。われわれ診療放射線技師は国民の皆さんの信頼に応え、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべく、さまざまな方策を展開しなければならない。安心・安全そして納得できる医療技術の提供を求められている。常に最先端の医療技術を学び、Evidence（最善の根拠）と専門性と患者の価値観の統合に基づいた医療技術＝EBMを提供する必要がある。昨年度も、各種認定技師・専門技師の育成を関連団体と連携しながら推進し、本部または各支部・地区主催の各種講演会、セミナー、勉強会を開催した。今回の業務範囲拡大の結果が国民医療のためによかったのか、チーム医療推進に寄与したのか、それがさらなる業務拡大につなげなければならない。国民の医療安全の点を見すえて、10年後、20年後、30年後のあるべき未来のためにいま何をすべきかが重要である。現役中に実現できなくても、いま取り組んでおかなければ、さらに遠い未来となる。われわれには、先人が残してくれたこの職能をより良いものにして引き継ぐ使命がある。本会事業・活動の推進に対し、

多大なご理解をいただいたことに感謝申し上げますとともに、新年度も今まで以上に都民・国民・会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆さまのより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。以上、総括を読ませていただきましたが、事業報告詳細については総会資料記載の通りです。ご審議よろしくお願い致します。

稲毛議長：それでは第2号議案の平成29年度決算報告を議題と致します。執行部より報告願います。



関経理委員長

関経理委員長：経理を担当しております関と申します。どうぞよろしくお願い致します。これより平成29年度の決算報告をさせていただきます。傍聴の

方々もおりますので会誌にてご説明致します。

会誌5月号の35ページから43ページが第2号議案の決算報告となっております。まずは35ページの貸借対照表よりご説明致します。これは法人の3月31日現在の財産状況を示しており、資産合計と負債及び正味財産の合計とが一致しております。事前に資料を配布しておりますので特徴的なものについて説明し金額については端数の読み上げを省略させていただきます。まず、固定資産の特定資産に計上している建物と土地ですが建物部分について前年度より67万円ほど減少しております。これは事務所の取得金額から経年的に減価償却されたものがあります。建物附属設備、什器備品についても同様に取得金額から経年的に減価償却されております。次に負債の部になります。まず、未払い金・預り金については3月までに支払うことができなかったものや源泉税を徴収したもので収益ではなく負債として計上しております。4月以降に税務署などに支払うものです。長期借入金は、新事務所取得のためのもので返済により減少となっております。以上により当年度末の資産は7,999万円となっております。次に36・37ページに正味財産増減計算書を示しております。またその内訳表を38・39ページに示しています。内訳表の右側には参考のために予算との差異を掲載しました。以下、主に内訳表で予算との差異がある箇所について説明させていただきます。受取会費は正会員2,166万円と賛助会員97,000円を合わせたものであります。賛助会員については定款が変更され正会員に編入されたため僅かな収益となっております。次に研修会事業収益は多くの皆さまの参加のご協力もあり予算比で369,000円の増収となりました。親睦会事業収益についてはボウリング大会や新春の集いが主となりますが、こちらも多くの皆さまのご参加により予算比で88,500円の増収となりました。これらは毎年参

加人数によって影響を受けるところであります。次に経常費用に移りますが事業費と管理費に大きく分かれております。事業費は技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用となります。予算との対比で分かる通り全体的には節約志向で活動しており減少しているところが多く見られます。事業費から特徴のあるところを説明しますと、多く支出しているところは会議費と印刷製本費であります。これは会議数、会員数の増加によるものが影響していると思われます。広報関連費は公益活動を推進する上での各地の行政祭りへの参加、配布物の制作、HPの運営関連となって活発に活動された成果となっております。その他は例年通りの事業を推進している為実績も例年と同様となっております。39ページの管理費についても同様の傾向となっております。以上のような内容により最終的に経常収益は2,817万円、経常費用が2,758万円となって当期の経常増減額は590,493円となります。この金額には会計基準により計上している減価償却費が含まれております。減価償却費は計上されていますが購入した時に費用を支払っているもので、実際には現金預金の流出を伴わない費用となります。したがって、実質としては事業の損益はかなりの節約となっております。以上で決算報告と致します。ご審議よろしくお願い致します。

稲毛議長：それでは続いて平成29年度監査報告を監事より願います。

葛西監事：監事の葛西一隆です。

野田監事：同じく野田扇三郎です。



葛西監事・野田監事

葛西監事：それでは平成29年度監査報告を申し上げます。私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31

日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次の通り報告します。1. 監査の方法及びその内容。各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討しまし

た。2. 監査意見。(1) 事業報告等の監査結果。(一) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。(二) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果。計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。以上、監査報告です。

稲毛議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。また、所属地区・氏名を述べてから、発言願います。質問に対しては執行部より回答致します。質問がないようですので、第1号議案：平成29年度事業報告について採決を行います。採決係の皆さん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成29年度事業報告は原案の通り承認されました。次に第2号議案：平成29年度決算報告について採決を行います。採決係の皆さん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成29年度決算報告は原案の通り承認されました。



澤田議長：それではここから私、澤田が進めさせていただきます。第3号議案の平成30年度事業計画案を議題と致します。執行部より説明願います。

篠原会長：それでは、平成30年度事業計画案の総括を読ませていただきます。総括、昨年は都議会議員選挙で惨敗した自民党が、わずか3カ月後の衆議院議員総選挙（10月）には大勝するというような目まぐるしさが際立った年である。「不確実性」が増すさまざまな情勢の中、本会の年度事業、公益事業を推進しながら期日が一步一步迫る大きなイベントへの準備を一層具体化する年度となった。まず2018年度には、本会創立以来初となる代議員総会を開催する。代議員制移行への主な理由・目的は、①会員数が2,000名を超える組織であること。②従来の仕組みでは総会成立のために書面評決票・委任状を提出していただき、総会出席会員数と合わせて

成立した時点で実質的には総会議案が可否決すること。③地区単位で一定会員数ごとの代議員制とすることで地区活動・支部活動ひいては本会の活性化につながる。などである。2018年度から数えると、1年後（2019年）には関東甲信越診療放射線技師学術大会が東京で開催される。昨年6月21日にキックオフミーティングを開催し大会テーマを『つながる医療 つなげる“和”～One for all, All for one～』と決定して準備を進めている。2年後（2020年）の創立70周年（法人化40周年）記念事業については、本年度内に実行委員会を立ち上げ、次の10年、更なる未来を見すえた意義ある通過点としていっている。先輩諸兄が残した偉大な遺産について思いを馳せながら、さらに育てて残していかなければならない。3年後（2021年）の第37回日本診療放射線技師学術大会+第23回AACRTについては、本会にとって全国学術大会と国際的な大会を同時に開催するという初めての経験となる。日本全国47都道府県会員はもちろん、アジア地域～オーストラリア・ニュージーランドの放射線技師が集う一大イベントであり、日本そして首都東京の職能団体としてしっかりと迎えたい。これも昨年12月に本会執行部及び大会長・広報担当とJART執行部及び学術・国際担当理事とで開催準備第1回会議が行われ、実質的なスタートラインに立った。われわれは国民の信頼にこたえ、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべく本年度も「チーム医療を推進し、国民及び世界に貢献する診療放射線技師の育成」をスローガンとして各種事業を展開していく。そして、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。また、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入っていく公益事業も引き続き推進する。災害対応への意識を風化させないために、防災・減災・緊急被ばく医療・BCP（事業継続計画）などもSR推進委員会を中心に活動していく。法改正による「診療放射線技師の業務拡大」に伴う統一講習会も本年度も継続して実施する。現在の職務に直接必要がなくても、診療放射線技師職としての業務範囲拡大であるので、新カリキュラムによる教育修了の学生が卒業してくるまでの間にできるだけ多くの既卒者に速やかに受講していただきたい。目先のことだけでなく、更なる業務拡大や将来的な本質的改正への重要なステップと認識していただきたい。診療放射線技

師の役割として、検像や読影の補助、いわゆる一次読影の定義や質の担保、更なる業務範囲の拡大や疑義照会などの導入も視野に入れる必要がある。以上のように、本年・1年後・2年後・3年後に向けて、同時進行的な動きが必要となる。役員、会員各位におかれましては、一層のご支援・積極的な会務への参画をお願いする次第である。以下、定款に基づく本会の事業に関しましては資料の通りですので審議をよろしくお願い致します。



稲毛議長・澤田議長

澤田議長：それでは第4号議案の平成30年度予算案を議題と致します。執行部より説明願います。

関経理委員長：これより平成30年度予算書案をご提案させていただきます。会誌5月号の56・57ページが第4号議案の平成30年度予算書となっております。まず一番上の行を横に見ていただくと公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計に分かれており、その合計が右から3番目の予算合計になります。その右側に参考として前期予算との差異を掲載しました。この3列を見ていただきご説明致します。事前に資料を配布しておりますので特徴的なものを説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。まず56ページ上半分ですが1. 経常増減の部、(1) 経常収益で本会の収入を示しています。受取会費であります。会員は約2,300名に迫るといことで正会員と賛助会員で合わせて約2,390万円を計上しております。また、定款が改正されまして賛助会員から正会員へ移行されたため正会員の割合が多くなっており賛助会員は実際には法人会員のみとなっております。その他の事業収益、受取寄付金、雑収益については前年実績を参考に計上しておりますので同額となっております。次に56ページ下半分と57ページにかけての(2) 経常費用つまり支出をご説明致します。会議費及び旅費交通費につきましては、会議数の増加及び代議員制移行によりそれぞれ増額しております。印刷製本費については、会誌発行の増加と研修会参加者の増加がありその資料作成が増えて増額しております。その他の項目は前期予算との対比で分かる通り、昨年度とほぼ同額または減額となっており、今まで通りの節約志向での活動を目指しています。前年実績を基に計上しておりますが活発に公益活動を実施することと研修事業の充実を目指すということでやや予算を増額した部分もございます。以上から最終的に経常収益を3,013万円、経常費用も3,013万円となり、当期経常増減額は0円となります。以上で平成30年度予算書をご提案します。ご審議をよ

ろしくお願い致します。

澤田議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。また、所属地区・氏名を述べてから、発言願います。質問に対しては執行部より回答致します。



松坂代議員

松坂代議員(第14地区)：第14地区の松坂と申します。経理の方にお聞きしたいのですが、事務所購入などの長期借入金が予算案に記載されていないのです

が、ご説明お願い致します。

澤田議長：執行部お願い致します。

関経理委員長：建物や土地の固定資産、長期借入金などは貸借対照表に記載されておりますので、平成30年度予算書には計上されておられません。

松坂代議員：そうでしたか、分かりました。それと事務所の購入費はいつごろ払い終わりますでしょうか。

関経理委員長：正確な月は記憶しておりませんが、本年度中に完済する予定です。

松坂代議員：そうですか、それでは今まで支払っていた予算が浮くと思いますが、そちらを他の事業などへ使うことはお考えでしょうか。

篠原会長：ご質問ありがとうございます。本年度中に完済しますので、その浮いた予算は当然会の為に有効に使わせていただきます。今のところ具体的な案はございませんが、何か案やアドバイスなどご意見をいただけたら幸いです。

松坂代議員：分かりました。有効に使っていただければと思います。ありがとうございました。

澤田議長：その他、ご質問はございますでしょうか。



河手代議員

河手代議員(第14地区)：事業計画案P.48の5. 2) 本会の活動に関する図書の刊行、とありますが具体的にはどのようなものになりますでしょうか。

市川学術教育委員長：ご質問ありがとうございます。一昨年「診療放射線技師(診療放射線技師学生)のための医学用語集」、その前は「MRI集中講習(MRI専門技術者認定試験にチャレンジするためのテキスト)」を出版しております。こちらの改訂版を作成したいと考えております。また、本年度6月にあります“きめこまかな生涯学習”でCTとMRIを半日間で行います。こちらは基礎的な講義となっております。4月に入職した新人を

ターゲットとしております。これをテキスト化することを考えております。来年度以降もこのテキストが新人の方の糧になればと思い計画をしているところであります。

河手代議員：どのように購入すればよいでしょうか。

市川学術教育委員長：“きめこまかな”の方のテキストはこれからですが、前述の用語集とMRI集中講座に関しましてはamazonでご購入できます。

河手代議員：そういったことも会誌などに掲載していただけだと思います。

市川学術教育委員長：そうですね。ご提案ありがとうございます。

河手代議員：もう一つ良いでしょうか。P.49の3)に定款の修正作業とありますが、具体的にはどういった項目がありますでしょうか。

篠原会長：公益社団法人に移行して何度か定款を改正して、それに付随する諸規程などとの整合性を取っていたのですが、一部に文言の修正が必要とみられる箇所がありますので修正を加えたいと考えております。こちらは法律に則っていないというものではないのですが、読み方によっては誤解を受ける可能性もありますので定款諸規程等委員会ですらで採んでからですが、修正させていただこうと思い記載させていただきました。

河手代議員：もう一つ、こちらはお願いののですが、毎年の総会の議事録が掲載されますが総会質疑における検討事項などが、その後の理事会議事録にないようですのでご検討をお願いしたいと思います。

篠原会長：貴重なご意見として伺っておきます。どうもありがとうございます。

澤田議長：その他、ご質問はございますでしょうか。それでは、第3号議案：平成30年度事業計画案について採決を行います。採決係の皆さん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成30年度事業計画案は原案の通り承認されました。次に第4号議案：平成30年度予算案について採決を行います。採決係の皆さん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手



願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成30年度予算案は原案の通り承認されました。

次に第5号議案：平成30・31年度役員選挙を議題と致します。選挙管理委員会として、各支部より大久保智史さん、伊佐理嘉さん、加藤夏生さん、山下素幸さん、上原英夫さんが選出されております。大久保選挙管理委員長より説明願います。

大久保選挙管理委員長：平成30・31年度役員選挙を行います。公益社団法人東京都診療放射線技師会会誌「東京放射線」3月号に告示されましたように、定款25条、26条及び役員選出規程に基づき、4月2日締め切りにて役員の立候補を行いました。理事立候補者として、篠原健一さん、浅沼雅康さん、安宅里美さん、石田秀樹さん、市川篤志さん、市川重司さん、江田哲男さん、工藤年男さん、鮎川幸司さん、白木尚さん、鈴木雄一さん、関真一さん、高野修彰さん、高橋克行さん、野口幸作さん、長谷川雅一さん、原子満さん、平瀬繁男さん、宮谷勝巳さん、渡辺靖志さん、以上の20名です。また、篠原健一さんは、会長への立候補を表明しております。監事立候補者として、葛西一隆さん、野田扇三郎さん、以上の2名です。野田扇三郎さんは、会員外であります。以上、理事候補20名、監事候補2名であり、定数内でありますので、役員選出規程第5条・4項無投票当選とありますように、役員立候補者全員の当選を報告させていただきます。また、篠原健一さんは、会長への立候補を表明しておりますので、定款第26条第2項、役員選出規程第5条第4項の規定に基づき、会長候補として信任投票を行わせていただきます。投票方法は挙手で行わせていただきますが、異議はありませんでしょうか。（拍手）異議はないということですので、挙手にて行います。不信任、信任の順で挙手をお願い致します。選挙管理委員の皆さま、ご協力をお願い致します。

会長候補として、不信任の方、挙手をお願い致します。会長候補として、信任の方、挙手をお願い致します。集計結果ですが、信任：62名、不信任：0



名となりました。採決の結果、篠原健一さんは会長候補として、信任されたことを議長及び会場に報告させていただきます。

澤田議長：選挙管理委員長および選挙管理委員の皆さま、ありがとうございました。只今の結果により、第69回定期総会において、役員立候補者全員の当選及び、篠原健一さんは会長候補者として選出することを決議致します。第1号議案から第4号議案までの採決結果が出

ましたのでご報告させていただきます。第1号議案：反対0、保留0、賛成63、第2号議案：反対0、保留0、賛成63、第3号議案：反対0、保留0、賛成62、第4号議案：反対0、保留0、賛成62となりました。以上をもちまして第69回定期総会の議事を終了させていただきます。只今をもちまして議長団を解任させていただきます。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

鈴木総務委員長：稲毛議長、澤田議長ありがとうございます。滞りなく審議を終了し、改めて感謝申し上げます。以上で本日の全日程が終了致しました。白木副会長より閉会のご挨拶を申し上げます。

白木副会長：本日は代議員の皆さまにおかれましては第69回定期総会にご参集いただきまして誠にありがとうございました。初の代議員総会でしたが皆さまにご協力いただきました結果無事に開催することがで



白木副会長

きました。ご承認いただきました事業計画に則って役員一同一丸となって推進する所存でございます。来年度には関東甲信越診療放射線技師学術大会を東京

都で開催する予定となっております。そのためには本年度は大事な年となっており、ぜひ代議員の皆さまの“和”をつないで成功させたいと思っておりますので今後ともご支援ご協力の程よろしくお願い致します。本日は誠にありがとうございました。

鈴木総務委員長：以上をもちまして、第69回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を終了させていただきます。

希望を、明日につなげる。

難しい症例にも対応する「技術力」と、
患者の皆様の負担を減らす「やさしさ」。
日立は、放射線治療によるサポートで、
すべての方の充実した生活に、豊かな人生に、
貢献を続けていきます。

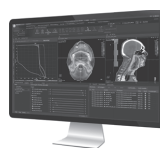


HITACHI Inspire the Next

放射線治療計画ソフトウェア RayStation

The Future of Treatment Planning is here
3D-CRT, IMRT, VMAT, Adaptive Radiation
Therapyまで 斬新で高度な最適化機能により
幅広い放射線治療を実現します。

販売名：放射線治療計画ソフトウェア RayStation
医療機器承認番号：22900BZK00014000
外国製造医療機器等特例承認取得者：RaySearch Laboratories AB
選任外国製造医療機器等製造販売業者：株式会社日立製作所



放射線治療装置 Radixact[™] シリーズ

線量出力とMVCT撮影時のガントリ回転周期
向上により、患者スループット向上を実現。天板
のたわみを抑制し、正確な平行移動を可能に
した他、輪郭作成機能を大幅に強化しました。

販売名：ラディザクト
医療機器承認番号：22900BZX00032000
製造販売元：日本アキュレイ株式会社



陽子線治療システム

PROBEAT-RT

スポットスキニング照射に特化。また動体追跡
照射により、体幹部の呼吸移動性臓器へ高精度
な照射を実現。システム全体の設置面積を、従
来製品[※]の約7割に縮小しています。

医療機器承認番号：22600BZX00068000

※比較対象製品：陽子線治療システムPROBEAT-III



●PROBEATは株式会社日立製作所の登録商標です。●RAYSTATIONはレイサーチラボラトリーズアーベの登録商標です。
●Radixactはアキュレイ インコーポレイテッドの登録商標です。

Innovating Healthcare, Embracing the Future

株式会社 日立製作所 www.hitachi.co.jp/healthcare

平成29年度 功労賞(勤続20年表彰)・小野賞 受賞者

【功労賞(勤続20年表彰)】

第2地区	田中 慶幸	聖路加国際病院
第2地区	長下部千春	聖路加国際病院
第3地区	黒木 幹夫	公益財団法人東京都予防医学協会
第4地区	岩村 絵里	医療法人財団南葛勤医協 芝診療所
第4地区	望月 美香	よしもとプレストクリニック
第4地区	河内 康志	東京都済生会中央病院
第8地区	三富 明	独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院
第10地区	中原 大輔	一般社団法人練馬区医師会医療健診センター
第13地区	中島 千枝	医療法人社団進興会
第13地区	清水 賢均	慈生会野村病院
第13地区	森 美加	杏林大学 保健学部
第13地区	福原かおる	独立行政法人国立病院機構災害医療センター
第16地区	吉田 治生	春日部市立医療センター

【小野賞】

総務委員会	岡部 圭吾	昭和大学藤が丘病院
編集委員会	岩井 譜憲	昭和大学江東豊洲病院
第1地区	大澤 享	三井住友銀行東京健康サポートセンター
第2地区	江田 裕介	聖路加国際病院
第6地区	岡部 博之	イムス東京葛飾総合病院
第15地区	本寺 哲一	昭和大学藤が丘病院



功労賞(勤続20年表彰)



小野賞

第64回きめこまかな生涯教育研修会に参加して

市立甲府病院 横森裕一

平成30年9月29日に開催された第64回きめこまかな生涯教育研修会では、群馬パース大学の今尾仁先生から「実践、ROC実習、実習、実習」というテーマでご講演いただきました。研修会は少人数ながらもアットホームな雰囲気の中、一人ひとりが理解するまで、名前の通りきめこまかな指導をしていただきました。統計解析にはフリーソフトであるEZRを用いて、誰でも実践できる内容となっていました。ROC解析には難しい作業が必要だと思っていましたが、EZRでの解析はとても簡単にできました。また、さまざまな統計解析が可能であり、論文での使用も問題がないということで魅力的なソフトウェアだと感じました。

ROCについての知識は学生のときに習った程度しかありませんでしたが、基礎から応用まで学ぶことができました。ROCによる評価は観察者による主観的な評価だと思いこんでいましたが、それだけでなく生化学データやCT値といった定量値を用いて、客観的な評価も可能であることを知りました。またROCの利用法には、AUC (Area Under the Curve)

を比較するだけでなく、閾値の検討やその他さまざまなモデルがあることを教えていただきました。

今回の実習ではROCや実際の手順を学ぶだけでなく、実験や論文を進めていく上で必要な知識や注意事項を丁寧に講義していただきました。具体的にはデータを取るときのテクニック・観察者の評定に影響を及ぼさない工夫・研究者の意図が入らない工夫・観察者への教育・予備実験など、より実践的ですぐにでも実験を行える内容となっていました。ROCを今後の研究のヒントにしたいという思いで参加しましたが、ROCだけでなく研究の経験が殆どない私にとって、今回学んだことは今後実験をしていく上でとても大切な基礎となりました。ROC解析は実験資料の作成などの事前準備がとても大変であると感じましたが、さまざまなことに適応できることを知り積極的に取り入れていきたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な講義をしていただいた今尾先生、企画していただいた東京都診療放射線技師会の皆さまに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

第63回放射線同友会

会長：工藤 年男（春日部市立医療センター）

【講演会】

日 時：2018年11月21日（水）18：30～19：30（18：00受付開始）

場 所：JR東京総合病院 講堂

内 容：『鯖江のメガネは世界一 ～日本的モダン JAPONISM～』

講 師：笠島博信氏（BOSTON CLUBデザイナー）

懇親会：JR東京総合病院 社員食堂

代表世話人：加藤京一（学校法人 昭和大学）

講師：^{かさしま ひろのぶ} 笠島 博信 氏（BOSTON CLUB JAPONISMチーフデザイナー）

【経 歴】

1971年 福井県鯖江市生まれ

1991年 東京デザイナー学院 工業デザイン科卒業。その後知識を広げるため渡米。

1994年 （株）ボストンクラブ 入社

「日本的モダン」

1984年、BOSTON CLUB創立時からメガネフレームのデザイン企画会社として、アパレルメーカーや眼鏡商社のOEMを数多く手掛けてきた。その経験を礎に、鯖江にある世界水準の生産技術を取り入れた日本産メガネとして、1996年IOFTにてハウスブランド“ジャポニスム JAPONISM”を発表。シンプルでありながら、存在感のあるフレームに、デザインだけでは終わらない機能性と実用性を加え、さらに遊び心をもエッセンスに取り入れた「機能が自然な形状に内包されたフレーム」が“ジャポニスム JAPONISM”です。

メイドインジャパン、メイドイン鯖江の眼鏡の素晴らしさを皆さんと一緒に学びたく思います。
ご参集お待ちしております。



【アクセス】

JR新宿駅南口

甲州街道改札

新南改札より徒歩5分

JR代々木駅

北口より徒歩5分

都営大江戸線新宿駅

A1出口より徒歩1分

小田急線南新宿駅より徒歩5分

超音波スクリーニング研修講演会2018五反田

- 会 期：平成30年12月15日（土） 午前9時40分～午後5時00分
 ※開場・受付開始：午前9時から
- 会 場：TOC五反田メッセ（東京都品川区西五反田6-6-19）
 ※JR山手線『五反田』西口より徒歩10分
- 参 加 費：6,000円 事前登録不要
- 主 催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク
- 共 催：日本総合健診医学会／日本消化器がん検診学会
- 後 援：日本超音波検査学会／全国労働衛生団体連合会／日本臨床衛生検査技師会／
 東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会／日本診療放射線技師会／
 東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会／超音波検査法フォーラム／東京超音波研究会

■プログラム テーマ：USスクリーニングの重要所見

時間	第一会場（自由席1,000席）	第二会場（優先席150席・自由席200席）
9:40	開会の辞 理事長 桑島 章	
9:45 ～10:30	■胆道 講師：関口 隆三（東邦大学医療センター 大橋病院） 司会：岩田 好隆（東京女子医科大学 東医療センター）	ライブセミナー1 ■脾臓 講師：岡庭 信司（飯田市立病院） 司会：鳥海 修（関東中央病院）
10:45 ～11:30	■消化管 講師：長谷川雄一（成田赤十字病院） 司会：桑島 章（PL東京健康管理センター）	ライブセミナー2 ■胆道 講師：関口 隆三（東邦大学医療センター） 司会：谷田部眞由美
12:00 ～12:45	■ランチョンセミナー『超音波画像と病理』 講師：市原 真（札幌厚生病院） 司会：若杉 聡（千葉西総合病院）	
13:00 ～13:45	■脾臓 講師：岡庭 信司（飯田市立病院） 司会：神宮字広明（東京都予防医学協会）	ライブセミナー3 ■消化管 講師：長谷川雄一（成田赤十字病院） 司会：永井 悟（湘南藤沢徳洲会病院）
14:00 ～14:45	■乳腺 講師：渡邊 良二（糸島医師会病院） 司会：高田 悦雄（那須赤十字病院）	ライブセミナー4 ■肝臓 講師：若杉 聡（千葉西総合病院） 司会：伊藤 正範（新宿健診プラザ）
15:00 ～15:55	■腎臓 講師：森 秀明（杏林大学医学部付属病院） 司会：岩下 和広（飯田市立病院） ■超音波検査士受験（健診領域の書類審査）及び超音波検査士更新について	
16:10 ～16:55	■肝臓 講師：小川 眞広（日本大学病院） 司会：矢島 晴美（東京都予防医学協会）	
16:55	閉会の辞 副理事長 関口 隆三	

※超音波検査士更新5点が付与されます。
 ※ランチョンセミナー 昼食を用意しています。（1,000食限定）
 ※超音波関連書籍の展示販売を行います。

- 問い合わせ先：超音波スクリーニングネットワーク
 E-mail：us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp
 ■ホームページ：http://us-screening.kenkyuukai.jp/



TOC五反田メッセ アクセス

会員動向

平成30年度4月～9月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成29年度末集計	2,163	180	24	18	100
平成30年 4月	2,165	7	3	5	3
平成30年 5月	2,208	45	2	2	2
平成30年 6月	2,225	21	2	3	3
平成30年 7月	2,253	25	4	0	1
平成30年 8月	2,273	21	2	2	1
平成30年 9月	2,281	13	4	3	6

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせて
お仕事をご紹介致します。
医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付
けております。

☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させていただきます。

☆ ご登録・ご相談は無料です。

☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。

☆ 受付時間 平 日 9:00 ～ 18:00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail: info@jmb88.co.jp URL: http://www.jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可: 派13-301371 有料職業紹介事業許可: 13-ユ-130023

News

11月号

日 時：平成30年9月6日（木）

午後6時45分～午後7時15分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、市川重司、
江田哲男、浅沼雅康、野口幸作、関 真一、
高野修彰、長谷川雅一、平瀬繁男、工藤年男、
高橋克行、市川篤志、原子 満、渡辺靖志

出席監事：葛西一隆、野田扇三郎

指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、関谷 薫（第2地
区委員長）、目黒一浩（第4地区委員長）、稲毛
秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委
員長）、三富 明（第8地区委員長）、澤田久恒
（第10地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、
崎浜秀幸（第13地区委員長代理）、河内康志（総
務委員）、村山嘉隆（総務委員）、新川翔太（総
務委員）

欠席理事：安宅里美、宮谷勝巳、鮭川幸司、鈴木雄一（議
事終了後に参加）

議 長：篠原健一（会長）

司 会：石田秀樹（副会長）

議事録作成：新川翔太

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：16名、欠席：4名

会長挨拶

今年はこれまで災害が非常に多く発生している。被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げたい。秋のシーズンがサマーセミナーから始まった。9月21日から23日には第34回日本診療放射線技師学術大会が山口県下関市で開催される。最も会員数の多い東京都から一人でも多く参加していただきたい。秋から始まる行政祭りにも積極的に協力していただきたい。また、次年度の事業計画に関してもそろそろ準備を進めてまいりたい。

報告事項

1) 会長

・7月28日、29日にJART47都道府県地区責任者研修会が初めて行われ、7つのテーマに分かれてワークショップを行った。初めに中澤会長から恒例の3つのお話があった。1つ目は働き方改革についてである。休日業務や夜勤、呼び出し体制に関してで、完全な2交代制となっている施設は全体の14%程度というのがアンケートで出ている。今後は宿直ではなく夜間の業務として認められるよう、厚生労働省に要望書を提出したとのことである。2つ目は、医師の読影レポー

トの確認漏れについてである。診療放射線技師の一次読影に関して、医療現場でより活用していただけるよう厚生労働省に要望書を提出したとのことである。3つ目は、日本診療放射線技師会が抱えているさまざまな課題についてである。私の参加したグループに与えられた課題は「入会促進」についてであった。ワークショップ各グループの報告は今後JARTの会誌に掲載される予定であるので、ぜひご覧いただきたい。

2) 副会長

白木副会長

・関東甲信越学術大会実行委員会に関して、実行委員会が3回行われた。詳細は報告書を確認いただきたい。また大会ホームページが10月1日から公開される予定である。

石田副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

4) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) その他

・活動報告書に追加なし。

議 事

1) 事業申請

①平成30年度第13地区研修会

テーマ：被ばく管理と被ばく低減

日 時：平成30年10月17日(水)19時00分～20時30分

場 所：日本医科大学多摩永山病院 C棟2階集会室

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

②荒川河川敷清掃活動

テーマ：地球環境保全活動 荒川河川敷清掃活動

日 時：平成30年10月28日(日)10時00分～13時00分

場 所：北区 荒川岩淵関緑地

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

③平成30年度SR推進委員会研修会

テーマ：災害対策研修会

日 時：平成30年11月3日(土・祝)13時00分～17時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

④平成30年度第15地区研修会

テーマ：(仮)今日学んで明日から実践「一般撮影パラメータ」

日 時：平成30年11月22日(木)19時00分～20時30分

場 所：高津市民会館

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

⑤第82回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：最近のトレンドからみる医療安全対策

日 時：平成30年11月28日(水)19時00分～20時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

⑥平成30年度城南支部研修会

テーマ：(仮)改正された放射線障害防止法の理解と施設の対応について

日 時：平成31年1月12日(土)14時00分～16時30分

場 所：東邦大学医療センター大橋病院 臨床講堂

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

⑦第83回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：学術教育が選んだ発表演題 - 新入会促進セミナー -

日 時：平成31年1月17日(木)18時30分～20時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

2) 会費返還申請について

野口理事：東京都に所属しているある会員に関して、ご子息さまからお手紙をいただいた。この会員は平成26年に健康上の理由で職場を退職され、入院した後に現在は老人介護施設に入居されている。年会費は自動引き落としであり、会員が入院する前に通帳は紛失していた。家族が今年の6月に通帳を再発行し、年会費が支払われ続けていることが発覚した。平成28年から3年分の会費の返還をお願いしたいとのことである。しかし、平成28、29年度はすでに決算が終了しているため、専門部委員会では返還できるのは今年度分のみという見解である。理事会での審議とご承認をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

3) 新入退会について

7月：新入会25名、転入4名、退会1名

8月：新入会21名、転入2名、転出2名、退会1名

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

【第8地区】

・OTA フェスタの参加メンバー調整を円滑にするために、早めに参加招集をお願いしたい。

長谷川理事：本理事会後、参加招集を行う。

連絡事項

1) 各専門部からの連絡事項

高野渉外委員長：日放技から30年および50年永年勤続表彰の推薦の依頼がきている。地区などに該当者がいる場合は周知をお願いしたい。また、今年度の会費を9月中に支払わないと対象にならないのでこちらも周知をお願いしたい。

浅沼編集委員長：イエローケーキに関して、新役員の方々に研修会でお願いをしていたが、当初の集まりが良くなかった。再度掲載月の表を送るため、準備をお願いしたい。

2) その他

今回は特になかった。

3) 今後の予定について(総務)

今回は特になかった。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成30年度

1. 学術研修会

第21回メディカルマネジメント研修会（医療被ばく低減施設認定取得講演会同時開催）

平成30年11月15日（木）

☆第17回ウインターセミナー

平成31年 1 月

☆2. 日暮里塾ワンコインセミナー

第82回日暮里塾ワンコインセミナー

平成30年11月28日（水）

第83回日暮里塾ワンコインセミナー

平成31年 1 月17日（木）

3. 集中講習会

第11回MRI集中講習会

平成31年 2 月

☆4. 支部研修会

城南支部研修会

平成31年 1 月12日（土）

多摩支部研修会

5. 地区研修会

第15地区研修会

平成30年11月22日（木）

第3地区研修会

平成31年 1 月29日（火）

第12地区研修会

平成31年 2 月22日（金）

第4地区・第16地区合同勉強会（SART第2地区との合同開催）

平成31年 2 月24日（日）

6. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会

平成30年11月 3 日（土・祝）

平成31年 3 月

7. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

富津海岸清掃活動

関連団体

平成30年度第4回業務拡大に伴う統一講習会

平成30年11月17日（土）～18日（日）

第63回放射線同友会

平成30年11月21日（水）

超音波スクリーニング研修講演会2018五反田

平成30年12月15日（土）

平成30年度第5回業務拡大に伴う統一講習会

平成31年 1 月26日（土）～27日（日）

平成30年度第6回業務拡大に伴う統一講習会

平成31年 3 月 2 日（土）～ 3 日（日）

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

（新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう）

イエローケーキ

「父親の運動会」

今年の娘の運動会は、当日の明け方まで降り続いた雨のため、延期されるものと思い込んでいた。ところがPTA役員と先生方の努力の甲斐あって、開門時にはグラウンドに水たまり一つない状態でラインも引かれていた。結果、長女の1年生の時から十数年続いた場所取りに失敗し、立ち見での観戦となった。

そんな中、徒競走のゴール最前列には、例年通り知ったお父さんが陣取っていた。娘の出番の時だけ、お邪魔させていただき、場所取りについて会話を交わした。雨の中、午前1時から並んでいたとのこと。それでも今年は3番だったらしい。彼の奥さん曰く、「子供たちから、1年で一番尊敬される瞬間。延期の時は、2日並んだ時もあった」そうだ。ただ、本人曰く(小声で)、「子供のためというよりは、自分が子供たちの競技をしっかりと見たいと思う気持ち、いや妻に子供のために自分もできることをやっているという、アピール」らしい。私には決して真似できないと思う…。

曇り空の中、時折雨も降ったが、無事にプログラムを消化し、運動会は閉会式を迎えた。娘も来年6年生になり、長かった私の運動会も来年、最終回を迎える。来年は、彼のようにはいかないが、娘の姿が人の頭に邪魔されない位置で見られるよう頑張りたいと思う。

wide-base

Canon



Vantage Galan™ 3T

認証番号: 228ADBZX00066000

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

東芝メディカルシステムズ株式会社は、2018年1月に「キヤノンメディカルシステムズ株式会社」へ社名変更いたしました。

画力、速力、究めて。
魅せるMRI
Vantage Galan 3T

テーマは、「究」「匠」「和」。
「究の質」を追求した先鋭の高画質。新技術PURERFによりSNRが20%向上、高精細な画像を可能にします。さらに、撮像から解析までをアシストする豊富なアプリケーションは、臨床の世界を広げます。省エネ・省スペースを叶えた「匠の技」。
広い開口部と静音化技術により、患者さんがリラックスして検査を受けられる「和の空間」。
日本の技術の粋と心を尽くした3テスラMRIの世界が現れます。

Made For life

Postscript

いよいよ秋も深まってきましたね。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。私は近頃クラシックを聴くことにハマりだしております。特に“ピアノ”。昔からJazzのピアノが好きで、王道のビル・エヴァンスなどはよくちょくちょく聴いてはいました。最高傑作ともいわれるアルバム“ワルツ・フォー・デビー”の1曲目“マイ・フーリッシュ・ハート”がとても好きで、息子がお腹にいるころに胎教と称して聴かせたりもしました。そんな息子は、Jazzなどまったく興味がなく“タイムボカンシリーズ”の主題歌で暴れまわっておりますが……。さて、私の現在とはいうと、クラシックの中でも“ピアノ独奏曲”に心動かされています。最初は、子供が寝静まった夜にお酒のお供に静かな曲をとYouTubeで独奏のものを探し始めました。秋の月夜にイメージぴったりの曲“ドビュッシー”の“月の光”をチョイスし、奏で方が一番心地よかった“メナヘム・プレスラー”のCDを購入したのですが、その検索の際に非常に心惹かれる？ 耳に残る？ 頭の中で響いている？ 演奏がありました。それは現在最高峰のピアニストの一人とされる“マルタ・アルゲリッチ”の“ボロネーズ第6番“英雄”変イ長調 作品53”収録動画です。気が付けば1965年に収録された白黒の彼女のエネルギッシュで情熱的な演奏が頭？ 心？ の中で響いて私をソワソワさせるのです。結局CDを購入し暇さえあれば聴き入っております。冒頭はクラシックにハマったといいましたが、実際はアルゲリッチに恋をしたっていうのが本音です。

まあそんなこんなで冬に向かいつつある今日この頃たまには固くなった心に油をさして、違う自分に出会いにくいのも秋の夜長には結構良いのかなと思うのです。これをきっかけに錆びついた感性を戻す為日頃だらけてしまっている“衣・食・住”を見直します!! 高価な衣を着飾るわけじゃなく意識高い系で？ Tシャツでもシワのない様アイロンがけをして首元も伸びたものはNG!! なるだけクリーンな食事を気にかけて、夜遅くの食事はひかえます!! 玄関で風水的な素敵な観葉植物を育てます!! 故郷の波崎にも家族を連れてちょこちょこ顔を出します。山口の嫁の実家も行きますよ～!!

筋肉スグル



■ 広告掲載社

富士フイルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
株式会社マエダ
(株)ジャパン・メディカル・プランチ
(株)日立製作所

東京放射線 第65巻 第10号

平成30年10月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成30年11月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月曜～金曜 9時30分～17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

電話・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃